

アレッシェンドロ・コピア

Alessandro Copia

4歳からトリノの「Suzuki Talent Center」にてチェロを始める。トリノ G.ヴェルディ音楽院を卒業後、スイス ルガーノ国立音楽院にてチェリスト、ロバート・コーエン（ファイン・アーツ四重奏団）に師事。クレモナにて W.スタウファー奨学生としてクレモナ スタウファーアカデミーにてロッコ・フィリッピーニ氏に師事。2009年にローマ サンタチエチリア音楽院の室内楽コースを卒業。トリノ CTR 財団と、米カリフォルニア「Williamson Fondation for Music」の奨学金を得る。

イタリア、チッタ・ディ・ジュッサーノ音楽コンクール第一位、イゾレ・ボロメオ国際コンクール第一位、ポンティヴレア国際コンクール第一位。2005年にはディーノ・カラヴィータコンクールでは第一位の他最優秀チェリストに贈られる「カラヴィータ賞」を受賞。

イタリア各地（ローマ、ミラノ、ヴェネツィア、トリエステ、ウーディネ、トリノ他）、フランス（ミュルーズ）イギリス（ヘーヴァリス）他ヨーロッパ各地でソロ及び室内楽のコンサートを行う。

室内楽奏者としては、ラウラ・マルザドーリ、マリオ・モンターレ、フランチェスカ・デーゴ、ブルーノ・ジュランナ、サルバトーレ・アッカルド他、数多くの著名な音楽家と、ローマ国立音楽院、ローマ室内楽フェスティバル、クレモナスタウファーアカデミー、ヨーロッパ弦楽指導者協会等を通じて共演した。

ソリストとしては、トリノ・ヴェルディ音楽院オーケストラ、レニャーノ・J.ハイドンオーケストラ、アロイジアーナジュニアオーケストラ、スイス・ルガーノ国立音楽院オーケストラと共演した。

トリノ王立歌劇場管弦楽団、トリノ RAI 国立交響楽団、ボルツァーノ・ハイドン管弦楽団、イギリス王立リバプール交響楽団等、主要オーケストラのエキストラとしても活動するとともに、2009年から2012年までトリノ・Crt 管弦楽団、2013年からピエツラ・ペロージアンサンブルの第一チェリストを務める。